

トレッドミル運動負荷心電図検査

・運動によって現れる胸痛、動悸、息切れなどの症状を再現し、その時の心電図や血圧の変化をみて、運動中の心臓の状態を調べる検査です。

・心臓の状態が悪くなると、運動によって心臓に負担がかかった時に不整脈や虚血(心筋に血液が十分にいかない状態)が起こり、心電図に変化が出ることがあります。



[検査方法]

・循環器内科医師立ち合いの下で、電動式のベルトの上を歩きます。ベルトは3分毎に速度や傾斜が増していきます。

・検査は胸に心電図の電極をつけ、腕に血圧測定用のカフ(圧迫帯)を巻いて行います。検査中は心電図を常時記録し、血圧は1分毎に測定します。

・年齢と性別に応じた目標心拍数に達して、運動量が十分とみなされたら検査を終了します。

・胸痛や動悸などの症状が出た場合や、足の疲れや息切れなどで運動が続けられない状態に達した場合、血圧の大きな変動や心電図に変化がみられた場合にも運動を終了します。

[検査時間]

30分程度です。(運動時間には個人差がありますので、あくまでも目安です)

[検査上の注意事項]

・検査時、極端な空腹状態は避けてください。

・検査前に食事をする方は、1時間前までに軽く召し上がってください。ただし、アルコール、タバコは避けてください。

・汗をかく程度の運動をしますので、動きやすい服装でお越しください。(上半身は検査衣を用意しております)また、汗を拭くタオル等をご用意ください。

・転倒防止のため、検査時は靴下を脱いでいただきます。

・検査終了後は十分に水分をおとりください。